

「第21回因州和紙あかり展」入賞作品選考審査結果

日時 令和7年1月10日（金）

午前10時～午後3時

場所 鳥取市あおや和紙工房

審査員長 石谷孝二氏（鳥取大学名誉教授）
審査員 山ノ内芳彦氏（木工・灯り作家）
審査員 川崎富美氏（プロダクトデザイナー）
オブザーバー 井田勝己氏（東京造形大学名誉教授）

■総 評

一般部門には県内外より24点、ジュニア部門が54点の計78点の作品が集まった。大型の作品が少なく、やや迫力にもの足りなさを感じたが、工夫をこらした魅力的作品が多く集まった。

大賞作品は和紙本来の持つ平面性を前面に出し、深い空間性の再現を特色とした作品である。

準大賞、佳作の作品には、それぞれの和紙の可能性を広げる意欲作が選出された。

■一般部門 講評



大 賞 【観測】

林 久美子（鳥取県東伯郡）

斬新なデザイン・発想であり、夜空を星観測するイメージの小さな穴によるグラフィックと金彩の着色も和紙の可能性を広げる作品として高い評価が得られた。



準大賞 [THEY SWIM]

竹歳 真帆 (東京都新宿区)

紙布を織り込んだゆるやかな造形は、浮遊する独特な形になっている。有機的なフォルムが、やわらかく光を包み込んでいる。

佳作 [包灯]

戸田 智美 (鳥取県東伯郡)

かぐや姫の灯りを包むイメージをそのまま感じさせる。柔らかい内部との対比も効果的である。



佳作 [シヤム猫]

福原 実 (兵庫県川西市)

程よい猫のデフォルメが成功している。ユーモアがあり大きさが目を引くが、程よいかわいらしさを含んだ作品である。

■ジュニア部門 講評



入賞 [カラフルな本]

加藤 瑞翔 (鳥取市立鹿野学園)

折りでページを表した本の表現が成功した作品である。表現が巧みである。

入賞 [桜の下で]

三島 知紗 (鳥取市立鹿野学園)

筒型の和紙に折り目をつけるなど、表現の工夫がみえた作品である。



入賞 [川の流れ]

山根 想 (鳥取市立鹿野学園)

自分なりの形を工夫した作品であり、大らかな着彩も効果的である。



■あおや和紙工房賞（鳥取県内の応募作品対象）



入賞 [美蕾-みらい-]
すずらんの会（鳥取県鳥取市）

美蕾～つぼみがどんな花になるのか～
幸多き一年になれときたいをこめた丁寧な作品。

入賞 [あおや海岸の夜明け前]
鳥取県立青谷高等学校（鳥取県鳥取市）

粗削りだがオレンジとブルーに染めた
紙布に可能性を感じる作品。

次期作品に期待 ～努力賞～

